

平成 22 年度 事業報告

平成 22 年度は、中期計画に基づき、計画的に各種事業を推進した。併せて、滋賀県立安土城考古博物館では、平成 18 年度に導入された指定管理者制度のもと、指定管理者として委託を受け、施設の管理運営を行った。

なお、滋賀県立琵琶湖文化館では、平成 20 年度から休館されているが、建物を収蔵する文化財の適正な管理を行うため、県より委託を受け管理運営業務を行った。また、滋賀県埋蔵文化財センターでも、引き続き管理委託を受け事業推進を図った。

1. 協会運営

(1) 役員会議等の開催

① 決算監査	平成 22 年 5 月 21 日(金)
② 第 1 回理事会および評議員会	平成 22 年 5 月 27 日(木)
③ 第 2 回理事会	平成 23 年 3 月 17 日(木)
④ 第 2 回評議員会	平成 23 年 3 月 29 日(火)
⑤ 第 3 回理事会	平成 23 年 3 月 30 日(水)

(2) 管理事務

- ① 平成 23 年度での新公益財団法人移行に向けて、認定申請書の作成等の事務作業を進めた。
- ② 協会事務局および滋賀県立琵琶湖文化館、埋蔵文化財センターの効率的な運営と維持管理を図った。
- ③ 新たな第 3 次中期計画（平成 22 年度～24 年度）を策定し、各施策の実施状況を点検、確認した。

(3) 指定管理

- ① 滋賀県立安土城考古博物館（指定管理期間平成 18 年～22 年度、5 年間）指定管理者としてのメリットを活かし、効率的な管理運営を図った。
- ② 上記博物館の新たな指定管理者（指定管理期間平成 23～27 年度）となるべく申請手続きを行い、許可を受けた。

2. 文化財保護のための普及啓発事業

(1) 文化財展の開催（資料参考）

① 「レトロ・レトロの展覧会 2010」—平成 21 年度発掘調査出土品展—

平成 21 年度に発掘調査した 16 遺跡から出土した遺物、遺構写真パネル、イラスト等を展示して調査の成果を広く公開した。入館者 7,009 人（前年比 2,000 人増）また、関連イベントとして、展覧会期間中実施している火起こし体験を、競争する

火起こしへと転換し、選手権として実施した。58名が参加。

② 第25回成果展「戦国の琵琶湖(うみ)―近江の城の物語―」の開催

安土城考古博物館の第40回企画展との共同開催として、協会が実施してきた戦国時代前後の城や城下町の資料を中心に展示を行った。合わせて近江の城を中心とした基調講演とシンポジウムを行った。なお、協会設立40周年記念事業として位置づけた。

入館者 14,486人

③ JR湖西線大津京駅構内文化財展示

大津京駅構内の展示場で、4回の展示を行った。第1回「琵琶湖をめぐる港と水運」第2回「琵琶湖の貝塚―栗津湖底遺跡が語るもの―」、第3回「お市の涙―もう一つの戦国―」、第4回「近江戦国ブログ」

④ 特別展示および体験イベント

大型商業施設で、滋賀県内の遺跡出土の遺物を紹介する展示を行った。滋賀県教育委員会・イオンモール草津・フォレオと共催し、小学生を対象とした勾玉製作(3回・各回30名)と県内遺跡出土のアクセサリおよび製作工具の展示・解説を実施。イオンモール草津では戦国時代の日常生活をブログ(日記)の形をとりながら紹介した「戦国ぶろぐ―近江城物語」の展示・解説を随時行った。

⑤ 車両展示

京阪電気鉄道との協定により、石坂線車両の内外に文化財展示を行った(平成23年4月まで)。

(2) シリーズ集等の発行

協会の活動や、調査成果をより適確に広報することを目的とし、「近江文化財通信」を編集、配付するとともに、平成22年度より「シリーズ近江の文化財」を刊行することとした。

① 「おうみ文化財通信」 No.4～7(年4回、各5,000部配布)

② 「シリーズ近江の文化財」 4冊を刊行(001号「甲賀郡中惣の世界―神と城そして武士―」、002号「関津遺跡―近江の南の玄関口―」、003号「琵琶湖の港と船」、004号「縄文人のエコロジーとエコノミー―琵琶湖の貝塚・栗津湖底遺跡が語る秘密―」)

(3) 刊行物の発行

職員の日頃の研究成果をまとめた「紀要」第24号(17編)を発行した。

(4) 調査成果説明会の開催

発掘調査現地説明会や整理調査成果報告会により地元住民や県民に調査成果を広め埋蔵文化財の普及に努めた。

① 発掘調査現地説明会の開催… 14回開催 参加者延べ 3,613人

② 整理調査成果報告会の開催… 2回開催 参加者延べ 922人

(5) 学校教育・生涯学習活動への協力

① 学校教育：体験学習や現地見学等により児童・生徒への文化財に対する興味が深まるように努めた。

・職場での体験等… 31回 参加者 887人

② 社会教育：県内外の市町や各種団体の行う文化財講座や遺跡見学会、研修会等に協力し、文化財に対する理解と併せて、普及啓発に努めた。当協会の文化財専門職員のもつ高い専門性と、その情報と知識を幅広く社会に還元するために、講師派遣事業を実施した(平成21年度9月に講師派遣リストを県内外の関連施設に送付)。

・文化財講座講師等… 49回 参加者 1,337人

・文化財探訪講師等… 15回 参加者 507人

(6) 情報の発信

協会ホームページにより発掘調査情報、現地説明会案内、資料、出版案内、整理調査速報などの情報を全国に発信した。

平成22年度アクセス総数 118,423件(月平均 9,868件)

(7) 連続講座の開催

連続講座「文化財もの知り学 2010」として、平城遷都1,300年企画「都を支えた近江そして琵琶湖」をテーマに、発掘・整理調査および研究の成果を、わかりやすく一般に伝える講座を7回、オプションツアー3回を開催した。

参加者 講座 延べ350人、ツアー 延べ90人

(8) 近畿ブロック埋蔵文化財研修会(会場：向日市)

職員の資質向上を目的に、『考古学におけるセレンディピティ(思わぬ発見)』をテーマとして、全国埋蔵文化財連絡協議会近畿ブロック加盟11法人の職員が、最新の発掘成果・研究成果を発表し研修した(第16回)。当法人からは、「鈴鹿の山の遺跡」と題し、縄文土偶が出土した相谷熊原遺跡や百済寺南川遺跡の調査成果について発表した。

(9) 『関西・考古学の日2010』展示と記念講演会

平成20年度から実施している近畿地方の埋蔵文化財に関連する財団法人が共同で行う普及活用事業で、当協会が幹事機関となった。「縄文のアートと文化」をテーマに、当埋蔵文化財センターにて展示を、県立図書館にて記念講演会を実施し

た。

展示 平成 22 年 9 月 10 日（金）～11 月 20 日（土）

記念講演会 平成 22 年 10 月 9 日（土） 参加者 80 人

(10) 大学との連携事業

滋賀県立大学との連携パイロット事業「文化財活用業務担当者育成事業」として、展示・体験イベントへの参加（3 人）、京都橘大学との発掘調査実習の受入れ（6 人）を行った。

3. 埋蔵文化財発掘・整理調査事業

平成 22 年度に実施した試掘調査および発掘調査件数は 27 件（平成 21 年度：35 件）、整理調査は 22 件（平成 21 年度：28 件）、計 49 件（契約件数 48 件）であった。調査面積は 54,567 m²（平成 21 年度：40,039 m²）に上り、前年度比の 1.36 倍となった。これは、名神高速道路（仮称）蒲生スマート IC 事業の建設工事に伴う調査や県道改築工事に伴う大規模調査が増えたことによる。

契約件数による事業別では、現地調査が国土交通省 1 件、土木交通部 15 件、農政水産部 6 件、公社 2 件、琵琶湖環境部 1 件、市町 1 件、その他 1 件を行った。

整理調査では、琵琶湖開発に伴う整理調査を継続的に行い（1 件）、土木交通部 9 件、農政水産部 10 件、琵琶湖環境部 1 件を行い、民間開発に伴う整理調査 1 件を契約した。報告書は、9 冊を刊行した。

(1) 主な発掘調査の成果

① 東近江市相谷熊原遺跡（ほ場整備事業）

昨年度、縄文時代早創期（約 13,000 年前）の竪穴住居などが検出された調査区は。県教委の指示のもと、保存処置を施して埋め戻しを実施。ほ場整備対象区全域に遺跡が広がることが判明した。試掘調査の成果から平成 23 年度は東側の寺前工区で調査を実施予定。

② 東近江市下羽田遺跡（ほ場整備事業）

近畿地方ではじめて、縄文時代晩期末の竪穴住居と掘立柱建物で構成された住居域と墓域が同じ遺跡で確認された。平成 23 年度も調査を継続する。

③ 大津市関津・関津城遺跡（県道工事）

国道 422 号建設に伴い平成 21 年度から調査を実施。関津遺跡では、鎌倉時代の上り築、戦国時代の屋敷地に伴う区画溝を検出した。関津城遺跡（在地豪族の宇野氏の居城）では、検出された曲輪・土塁・切岸・虎口は戦国期城郭の防御機能の高さを具体的に知ることができ、単に戦闘だけでなく、日常生活、儀礼、接客など多面的に利用されたこと証明された。平成 23 年度も調査を継続する。

④ 東近江市蛭子田遺跡（名神高速道路（仮称）蒲生スマート IC 事業）

古墳時代前期と後期の竪穴住居、古墳時代後期や平安時代中期の河川跡などが検出された。特に、古墳時代の河川跡からは、農具や容器、建築部材など多量の木製品も出土した。平成 23 年度も調査を継続する。

⑤ 米原市清滝寺・能仁寺遺跡（砂防工事）

史跡清滝寺京極家墓所および県指定建造物徳源院三重塔が所在する徳源院の隣接地において、平成 20 年度から調査を実施。第 7 代京極高詮の菩提寺である能仁寺と推定される寺院跡を確認。方形区画の基壇、山門跡や石垣を検出した。平成 23 年度も調査を継続する。

⑥ 大津市宇佐山古墳群（砂防工事）

近江神宮の裏山にあたる傾斜地で、弥生時代後期末から古墳時代初頭の周溝墓、箱式石棺を主体部とする古墳時代中期前半の古墳、奈良時代の祭祀場、平安時代の火葬墓を検出した。箱式石棺内には、被葬者の頭蓋骨が残っていた。その他に弥生時代中期の竪穴住居等も確認した。

⑦ その他の発掘調査

・米原市入江内湖遺跡（国土交通省）

国道 8 号バイパス工事に伴い旧入江内湖内の調査を実施。縄文時代の釣針などの骨角器、古墳時代の木製農耕具などが出土した。

・甲賀市春日北遺跡（県道建設）

平成 21 年度の調査で検出された平安時代中期（10 世紀中頃）の緑釉陶器窯跡 5 基（1・3～6 号窯）、灰釉陶器窯跡 1 基（2 号窯）の内、3～6 号窯とその灰原の調査を実施した。

・高島市天神畑・上御殿遺跡（河川工事）

河川新設事業に伴い平成 20 年度から調査を実施。弥生時代後期から鎌倉時代の遺物を含む河川跡、古墳時代前期の大壁建物などを確認した。河川跡からは、鎌倉時代の轡が出土した。平成 23 年度も調査を継続する。

・彦根市佐和山城遺跡（ほ場整備事業）

平成 21 年度から調査を実施。城下町の主要道路である「本町筋」を確認し、町屋にあたるその両側で掘立柱建物・区画溝・井戸を検出した。

・竜王町堤ヶ谷遺跡（工業用地造成工事）

造成工事対象地 40ha で試掘調査を実施した。中央の丘陵部で弥生時代中期の環濠で囲まれた遺構を検出し、その他の地域でも中世および近世の古墓、近世の集落、戦争関連遺構などを確認した。この結果をもとに、平成 23 年度に発掘調査を実施予定。

（2）主な整理調査の成果

琵琶湖開発事業に伴う整理業務は、湖南地域の粟津湖底遺跡、志那湖底遺跡、七条浦遺跡等、湖西北部地域の針江浜遺跡、森浜遺跡の整理調査を行い、志那湖底遺跡と七条

浦遺跡の報告書を刊行した。

土木交通部関係では、塩津港遺跡、清滝寺・能仁寺遺跡、春日北遺跡、関津城遺跡などの整理調査を行い、番場遺跡、金貝遺跡の報告書を刊行した。

農政水産部関係では、六反田遺跡、相谷熊原遺跡、下羽田遺跡の整理調査を行い、浄土屋敷遺跡、井戸・針氏城遺跡、夏見城遺跡、金剛寺城遺跡の報告書を刊行した。

琵琶湖環境部関係では、松原内湖遺跡の報告書を刊行した。

民間事業では、平成21年度に発掘調査した守山市三宅北遺跡の整理調査を行い、報告書を刊行した。

平成22年度刊行 発掘調査報告書一覧

No.	報告書名	副題	所在地	事業者	内容
1	七条浦遺跡・志那湖底遺跡	琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書10	草津市	水資源開発公団	七条浦遺跡では、弥生前期～中期の遺物包含層を確認。志那湖底遺跡では、縄文後期末～晩期初頭の土器棺墓群、弥生中期と古墳時代の遺構・遺物を確認。
2	番場遺跡	国道477号緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書	日野町	県土木交通部	旧流路と落込みから古墳時代中期の土器・木製品（木製網代・堅櫛等）が出土。
3	金貝遺跡	八日市新川広域河川改修工事に伴う発掘調査報告書	東近江市	県土木交通部	奈良・平安時代のこの地域開発の様相を示す灌漑用水路や掘立柱建物群を確認。
4	松原内湖遺跡Ⅱ	琵琶湖流域下水道事業（東北部浄化センター増設工事）に伴う発掘調査報告書	彦根市	県琵琶湖環境部	谷地形で縄文・奈良～平安前期・室町前期・江戸時代の遺構・遺物を確認。
5	針氏城遺跡・井戸遺跡その1・2	ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書38-2	湖南市	県農政水産部	縄文時代から中世にわたる遺物を確認。
6	夏見城遺跡	ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書38-3	湖南市	県農政水産部	15世紀後半から16世紀後期前葉の屋敷地を区画する溝を確認。夏見城の城館構造を垣間見る。
7	金剛寺城遺跡	主要大津能登川長	近江八幡市	東近江土木事	小穴と須恵器・土師器片を確認

		浜線道路改築工事に伴う発掘調査報告書		務所	。時期不詳。
8	浄土屋敷遺跡 I	ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書38-1	東近江市	県農政水産部	室町時代の堀と溝で区画された集落遺跡
9	三宅北遺跡	学校法人立命館守山中学校・高等学校新グラウンド整備造成工事に伴う発掘調査報告書	守山市	民間	7世紀前半代のこの地域開発を示す灌漑用水路を確認。

平成22年度 決算監査
事業報告

財団法人滋賀県文化財保護協会

文化財保護のための
普及啓発事業

火起こし体験
火起こし選手権も実施

「レトロ・レトロの展覧会 2010」
入館者7,009人
(前年比2,000人増)

文化財体験学習
一大型ショウ

車両展示
—京阪電車—

調査成果説明会
発掘調査の現地説明会

14回開催 3,613人参加

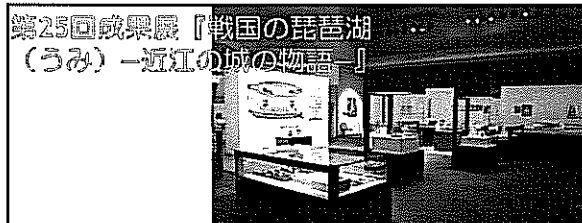
整理調査の成果報告会

「あの遺跡は今！」
2回開催
922人が参加

連続講座
「文化財もの知り学」


関西・考古学の日

第25回成興展『戦国の琵琶湖
(うみ) -近江の城の物語-』



展覧会 14,486人

関連行事
基調講演・シホ・ジウ
体験「なりきり戦国時代」



発掘調査・整理調査事業



発掘調査件数 27件 (平成21年度35件)
整理調査件数 22件 (平成21年度28件)
計 49件
調査面積 54,567㎡
(平成21年度 40,009㎡)

相谷熊原遺跡 (発掘整備)
—東近江市永原町相谷町—




遺跡の保存

下羽田遺跡 (発掘整備)
—東近江市上平木町—



縄文時代晩期末
住居・土器・土器と掘立柱
遺跡の同一遺跡内





関津城遺跡 (国道工事)
—大津市関津町—

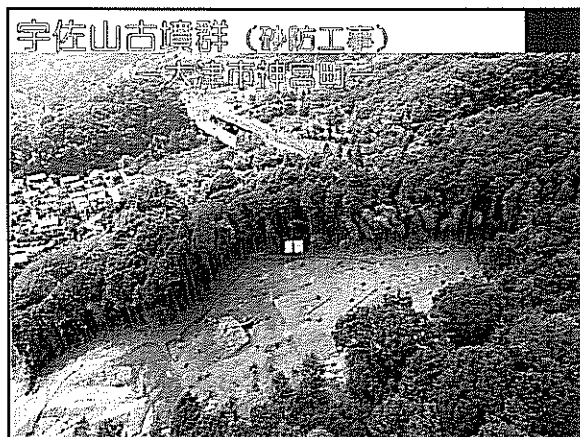
城郭構造を知ること
できる希少な例。
戦国期の土蔵も検出

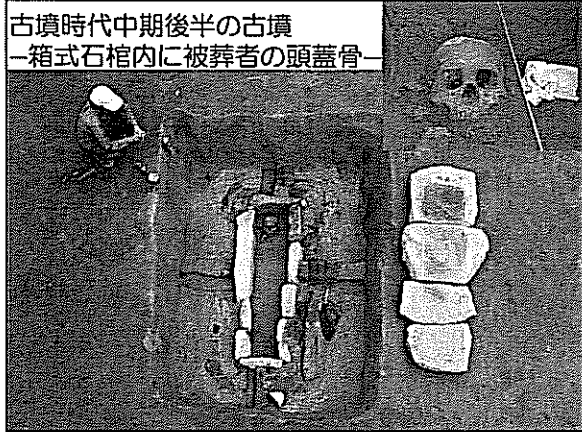



関津城遺跡全景

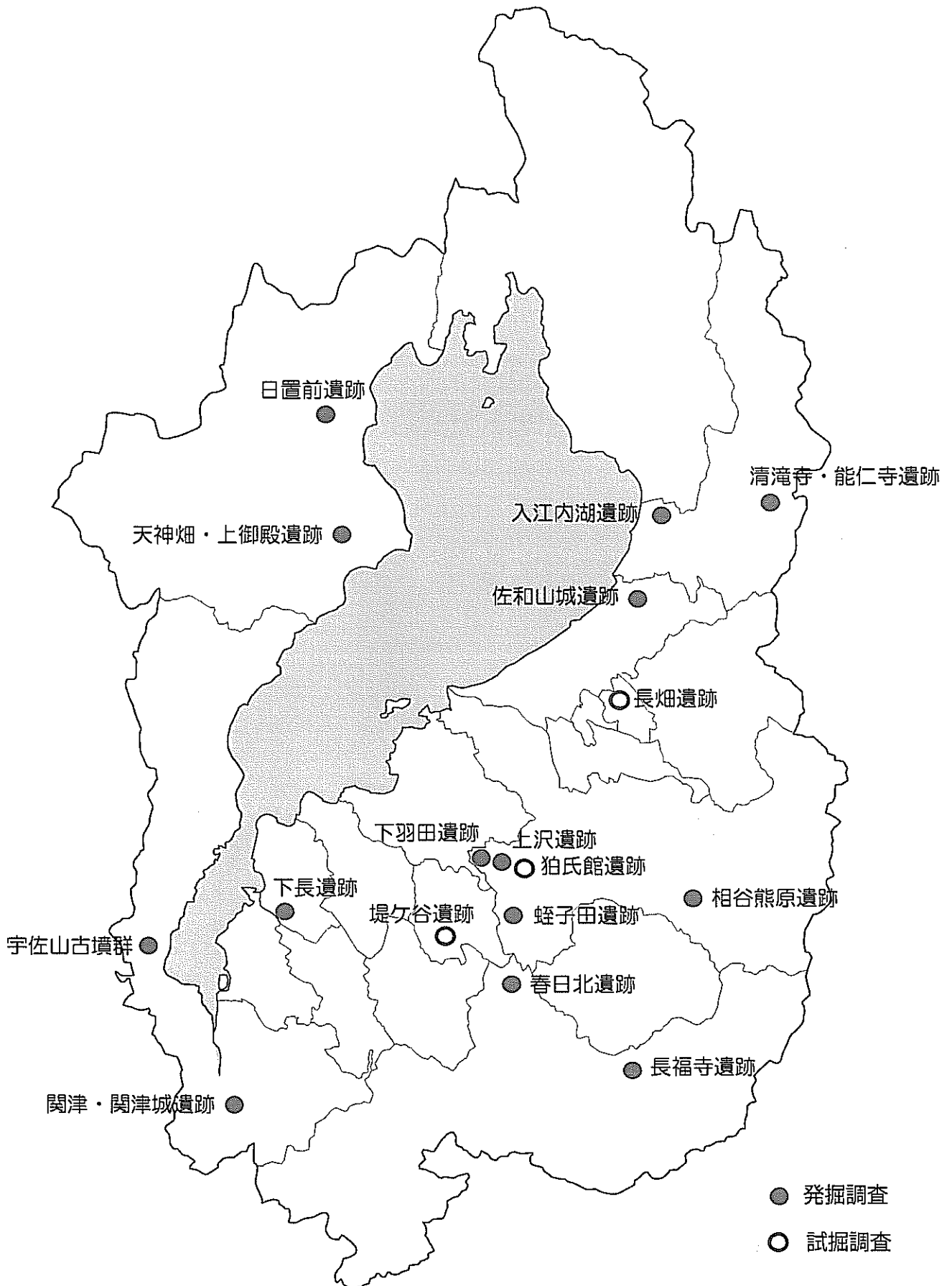
関津遺跡
鎌倉時代の上り築





平成22年度 主な発掘調査遺跡の位置図



平成22年度埋蔵文化財調査一覧表

発掘・試掘調査

No	契約 番号	遺跡名	所在地	調査	試掘(m ²)	発掘(m ²)	検出された主な時期と遺構
国土交通省滋賀国道事務所							
1	842	入江内湖	米原市	発掘	0	1,278	縄文・古墳の包含層
農政水産部耕地課							
2	801	下羽田(浄化池)	東近江市	発掘	0	4,540	縄文・古墳の住居、奈良～平安の建物と石敷
3	803	佐和山城	彦根市	発掘	0	1,052	戦国城下町 道跡・屋敷地
4	807	相谷熊原	東近江市	発掘	2,522	3,366	縄文の集落
5	839	下羽田(ほ場)	東近江市	発掘	0	2,271	中世の土坑・小穴
6	840	上沢	東近江市	試掘	1,095	464	中世の溝・土坑・小穴
7	850	狛氏館	東近江市	試掘	1,500	0	中世の遺構確認
土木交通部道路課							
8	811	春日北	甲賀市	発掘	0	80	平安の緑釉陶器窯
9	817	関津・関津城	大津市	発掘	0	1,200	中世城郭(蔵検出)、屋敷跡
10	836	関津城	大津市	発掘	520	4,700	
11	847	関津	大津市	発掘	0	1,730	鎌倉の築
12	819	下長	守山市	発掘	0	3,200	平安の建物・溝
13	845	下長その2	守山市	発掘	0	3,190	古墳の溝、平安の溝・建物
14	823	蛭子田	東近江市	発掘	0	6,000	古墳の集落、旧河道
15	849	長福寺	甲賀市	発掘	0	380	寺院関連遺構か
16	830	霊仙寺	栗東市	試掘	35	0	遺構遺物確認されず
17	838	日置前	高島市	発掘	0	450	奈良の掘立柱建物
土木交通部砂防課							
18	812	宇佐山古墳群	大津市	発掘	0	3,500	弥生末の周溝墓、古墳、平安の祭祀
19	818	清滝寺・能仁寺	米原市	発掘	0	3,900	能仁寺関連の基壇
20	834	山屋敷	日野町	試掘	150	0	遺構・遺物確認されず
21	844	中村城	大津市	試掘	150	0	遺構・遺物確認されず
土木交通部河港課							
22	846	天神畑・上御殿	高島市	発掘	0	2,250	古墳の大壁建物、旧河道
県公社関係							
23	827	金剛寺・後川	近江八幡市	発掘	0	555	鎌倉の溝・土坑
24	822	堤ヶ谷	竜王町	試掘	3,000	0	弥生の環濠、中世～近世集落、戦争関連遺構
その他							
25	843	辻	栗東市	発掘	0	115	土坑・溝
26	835	聖衆来迎寺	大津市	発掘	0	24	門の基礎
27	848	長畑	甲良町	試掘	1,350	0	奈良の掘立柱建物・井戸・溝・小穴
				計	10,322	44,245	

整理調査

No.	契約 番号	遺跡名	所在地	調査	対象調査年 度(平成)	報告書	
旧水資源開発公団							
1	802	水資源関連(七条浦・志那湖底)	草津市	整理		○	七条浦遺跡では、弥生前期～中期の遺物包含層を確認。志那湖底遺跡では、縄文後期末～晩期初頭の土器棺墓群、弥生中期と古墳時代の遺構・遺物を確認
農政水産部耕地課							
2	804	井戸その1	湖南省	整理	21	○	縄文～中世の遺物
3	805	井戸その2	湖南省	整理	21		
4	806	夏見城	湖南省	整理	20	○	中世城郭の屋敷地
6	809	浄土屋敷その1	東近江市	整理	20・21	○	中世集落
7	810	相谷熊原	東近江市	整理	21		縄文の集落
8	813	浄土屋敷その2	東近江市	整理	21		中世集落
9	814	下羽田	東近江市	整理	21		古墳の集落
10	820	針氏城その1	湖南省	整理	21	○	井戸遺跡の報告書と合冊
11	821	針氏城その2	湖南省	整理	21		縄文～中世の遺物
12	828	金剛寺城	近江八幡市	整理	21	○	小穴。須恵器・土師器出土
土木交通部道路課							
13	824	番場	日野町	整理	20	○	古墳の旧河道、網代
14	832	春日北	甲賀市	整理	21		平安の緑釉陶器窯
15	833	関津・関津城	大津市	整理	21・22		中世城郭
16	838	日置前	高島市	整発	21・22		奈良の掘立柱建物
17	841	春日北その2	甲賀市	整理	22		平安の緑釉陶器窯
土木交通部砂防課							
18	816	清滝寺・能仁寺	米原市	整理	20・21		寺院関連遺構
土木交通部河港課							
19	808	塩津港	長浜市	整理	20・21		平安～中世の神社跡
20	825	金貝	東近江市	整理	20・21	○	平安の掘立柱建物
21	837	上御殿・天神畑	高島市	整理	20・21		旧河道、弥生～中世
琵琶湖環境部下水道課							
22	826	松原内湖	彦根市	整理	18～20	○	縄文の土坑、奈良～平安の住居、近世の道・墓
民間							
23	815	三宅北	守山市	整理	21	○	古墳～奈良の溝

平成22年度文化財関係調査受託事業一覧表

契約No	受託事業名	区分	原因者	契約額(税抜き)	内人件費	内事務費
	(国土交通省関係)					
842	入江内湖	発	国土交通省	31,991,000	5,656,750	1,834,186
	1件		小計	31,991,000	5,656,750	1,834,186
	(水資源開発公団関係)					
802	琵琶湖開発関連埋蔵文化財 保管整理	整	(旧水資源開発公団)	51,250,000	31,892,850	3,839,589
	1件		小計	51,250,000	31,892,850	3,839,589
	(県教育委員会)					
835	聖衆来迎寺	発	県教育委員会	951,000	635,800	77,764
	1件		小計	951,000	635,800	77,764
	(土地開発公社)					
822	堤ヶ谷	試	土地開発公社	18,790,000	9,649,200	1,366,447
827	金剛寺・後川	発	土地開発公社	3,154,000	1,280,950	221,958
	2件		小計	21,944,000	10,930,150	1,588,405
	(県農政水産部関係)					
801	下羽田(浄化池)	発	県農政水産部	38,275,000	15,062,850	2,954,906
803	佐和山城	発	県農政水産部	9,300,000	3,740,000	730,019
804	井戸(その1)	整	県農政水産部	723,000	495,550	59,015
805	井戸(その2)	整	県農政水産部	856,000	589,050	69,649
806	夏見城	整	県農政水産部	1,950,000	1,178,100	161,002
807	相谷熊原	発	県農政水産部	32,236,000	14,726,250	2,659,547
809	浄土屋敷その1	整	県農政水産部	10,138,000	7,779,200	831,617
810	相谷熊原	整	県農政水産部	13,134,000	4,329,050	1,072,210
813	浄土屋敷その2	整	県農政水産部	6,864,000	4,039,200	566,202
814	下羽田	整	県農政水産部	5,342,000	2,805,000	440,910
820	針氏城その1	整	県農政水産部	715,000	102,850	58,599
821	針氏城その2	整	県農政水産部	3,734,000	1,477,300	303,188
828	金剛寺城	整	県農政水産部	212,000	149,600	17,163
839	下羽田(ほ場)	発	県農政水産部	11,747,000	5,020,950	909,130
840	上沢	発	県農政水産部	6,082,000	2,907,850	488,540
850	狛氏館	発	県農政水産部	2,843,000	1,477,300	233,866
	16件		小計	144,151,000	65,880,100	11,555,563

契約No	受託事業名	区分	原因者	契約額(税抜き)	内人件費	内事務費
	(県土木部関係)					
808	塩津港	整	県土木部	23,651,000	11,855,800	1,906,557
811	春日北	発	県土木部	3,845,000	1,823,250	301,628
812	宇佐山古墳群	発	県土木部	33,289,000	14,025,000	2,572,254
816	清滝寺・能仁寺	整	県土木部	7,538,000	3,983,100	622,133
817	関津・関津城	発	県土木部	10,039,000	3,786,750	828,500
818	清滝寺・能仁寺	整	県土木部	41,660,000	13,875,400	3,252,134
819	下長ほか	発	県土木部	14,494,000	4,824,600	1,135,473
823	蛭子田	発	県土木部	59,344,000	24,113,650	4,546,313
824	番場	整	県土木部	5,350,000	3,590,400	433,855
825	金貝	整	県土木部	4,819,000	3,300,550	397,863
830	霊仙寺	試	県土木部	590,000	439,450	47,350
832	春日北	整	県土木部	6,803,000	2,758,250	561,671
833	関津・関津城	整	県土木部	3,156,000	1,916,750	260,489
834	山屋敷	試	県土木部	1,714,000	1,131,350	133,371
836	関津城	発	県土木部	43,145,000	17,063,750	3,367,901
837	天神畑・上御殿	整	県土木部	7,714,000	4,282,300	621,219
838	日置前	発	県土木部	3,878,000	2,066,350	314,248
841	春日北その2	整	県土木部	9,092,000	3,244,450	750,053
844	中村城	試	県土木部	857,000	495,550	69,941
845	下長その2	発	県土木部	17,222,000	6,301,900	1,340,286
846	天神畑・上御殿	発	県土木部	15,347,000	5,507,150	1,188,415
847	関津	発	県土木部	9,638,000	4,329,050	795,277
849	長福寺	発	県土木部	2,073,000	832,150	157,998
	23件		小計	325,258,000	135,546,950	25,604,929
	(琵琶湖環境部関係)					
826	松原内湖	整	県琵琶湖環境部	8,282,000	6,105,550	682,969
843	辻	発	県琵琶湖環境部	1,075,000	691,900	85,189
	2件		小計	9,357,000	6,797,450	768,158
	(その他事業)					
815	三宅北	整	戸田建設㈱	2,350,000	1,497,340	192,821
848	町内(長畑)	発	甲良町	1,734,000	1,280,950	142,320
	2件		小計	4,084,000	2,778,290	335,141
			合計	588,986,000	260,118,340	45,603,735

4. 「県立安土城考古博物館」「県立琵琶湖文化館」および「県埋蔵文化財センター」の管理運営事業

(1) 「県立安土城考古博物館」

① 展示事業

a. 特別展

○春季特別展

『導水施設と埴輪群像から見えてくるもの—古墳時代の王権とまつり—』

古墳から出土する様々な埴輪は、出土状況や配置から葬られた首長に関わる儀礼や祭りを表現しているという議論が、近年盛んになってきた。その背景には、導水施設や井戸など埴輪と同様の遺構が実際に発見され、各地で行われるまつりの姿が明らかにされてきたことがあげられる。埴輪群像についても、高槻市今城塚古墳から大規模な埴輪群像が発見されたことにより、王権祭祀の再検討の必要が認識されてきている。展覧会では、このような埴輪と関連資料を展示することでそれらが示す祭祀や思想について考え、古代人の祈りの造形を紹介した。

・会期 平成 22 年 4 月 24 日（土）～6 月 13 日（日）

・入館者数 8,794 人

・関連行事

記念講演会

日時 平成 22 年 5 月 5 日（祝） 参加者 130 人

テーマ 「私説埴輪論—どうした祭りを表現しているのだろうか—」

講師 奈良大学名誉教授 水野 正好 氏

○秋季特別展

『室町最後の将軍—足利義昭と織田信長—』

織田信長に奉じられて室町幕府第 15 代将軍となった足利義昭は、まもなく信長と対立。元亀 4 年(1573)夏には信長に対して挙兵し、敗北して京都を離れていく。一般的にはこの時点が「室町幕府滅亡」と認識されているが、義昭はその後も征夷大将軍職にあり、紀伊や備後鞆の浦へと流浪しながらも、中国地方の毛利氏や甲斐の武田氏・越後の上杉氏・全国の一向宗門徒を率いる大坂本願寺などの反信長勢力の中核に位置し、信長の最大の敵であり続けた。展覧会では、そのような義昭の行動やその権力の結末を、信長との関わりを中心に考え紹介した。

・会 期 平成 22 年 10 月 16 日（土）～11 月 14 日（日）

・入館者数 4,622 人

・関連行事 記念講演会

日 時 平成 22 年 11 月 7 日（日） 参加者 175 人

テーマ 「流浪の将軍—頼公方義昭と毛利氏—」

講 師 島根大学准教授 長谷川 博史 氏

b. 企画展・テーマ展

○第40回企画展・滋賀県文化財保護協会調査成果展（40周年記念事業）

『戦国の琵琶湖－近江の城の物語－』

琵琶湖を抱える近江国は1300ヶ所を超える城跡が残る「城の国」であり、その水運も含み込んだ交通の要衝でもあることから、古代以来さまざまな歴史的な事件の舞台となってきた。特に戦国時代には、天下統一を目指す武将たちにとって重要な地点と意識されている。展覧会では、戦国時代を中心に琵琶湖を取り巻く多くの城郭を戦略・政治・社会・文化とさまざまな側面から取りあげ、泰平の時代への胎動を探るとともに、忍者や武将の実生活などを近年の発掘調査成果や資料・美術品などから考えた。

会 期 平成22年7月17日（土）～9月26日（日）

入館者数 14,486人

関連行事 シンポジウム

日 時 平成22年8月15日（日） 参加者150人

基調講演 「新視点・城がもたらした平和－目からウロコの城郭論－」

講師 長浜城歴史博物館館長 中井 均 氏

事例報告 「彦根城に見る「戦闘（防衛）機能」と「統治機能」

講師 彦根市教育委員会文化財部長 谷口 徹 氏

事例報告 「江戸時代の彦根城天守の利用について」

講師 彦根城博物館学芸課長補佐 渡辺 恒一 氏

○特別陳列

『四季の花に遊ぶ鳥－琵琶湖文化館収蔵品から－』

日本には豊かな四季があり、人々は自然と共存しながら多彩な四季を演出してきた。その代表的なものが、四季折々に咲く花やそこに遊ぶ鳥たちを描いた花鳥画である。花鳥画は鎌倉時代末頃から独立した画題として描かれはじめ、桃山時代には装飾性豊かな金碧花鳥画が開花。江戸時代になると、写生を中心にした作品も大きな位置を占めるようになる。特別陳列では、琵琶湖文化館の収蔵品の中から選りすぐりの花鳥画や花鳥を素材とした工芸品を展示し、花鳥を愛でる人々の豊かな感性を紹介した。

会 期 平成22年12月4日（土）～平成23年1月23日（日）

入館者数 3,378人

○第41回企画展

『近江の観音像と西国三十三所巡礼』

多くの仏の中でも、観音菩薩に対する人々の信仰や人気は絶大である。滋賀県は我が国の中でも特に観音信仰の盛んな地域で、西国三十三所巡礼の札所のうち六ヶ寺が存在するほか、多くの優れた観音像が県内各地に伝え守られている。

展覧会では、これらの観音像の彫像・画像をはじめとして、関連資料として出土した巡礼札や考古・民俗資料を通じて、観音信仰の実態を紹介した。

会 期 平成 23 年 2 月 11 日（金・祝）～4 月 3 日（日）

入館者数 10,037 人

○テーマ展

- ・「摠見寺所蔵名品展」 平成 22 年 4 月 20 日～6 月 6 日

織田信長が安土城築城の際建立した摠見寺には、信長にゆかりの品や織田家関係の資料が多く伝えられる。本展では、このうち信長が使ったとされる品々や安土城の古絵図、摠見寺を菩提寺と定めた際の豊臣秀吉の判物など 10 点を展示した。

- ・「阿弥陀仏への祈り展」 7 月 27 日～8 月 29 日

阿弥陀如来およびその浄土への往生を求める信仰により生み出された浄土教美術が生み出した尊像や来迎図などを展示することで、人々の信仰やそれらの造形的な魅力を紹介した。

- ・「藤岡謙二郎と近江の縄文遺跡」 11 月 9 日～12 月 26 日

これまで京都大学で保管されていた、藤岡謙二郎先生が 1950 年代に収集した考古資料の一部が、滋賀県へ里帰りしたことを契機に、その中から、粟津湖底遺跡発見当時のものと思われる資料を中心に、藤岡先生の直筆ノートなどとともに紹介した。また併せて、瀬田川河口部周辺の湖底・河底の発掘調査で見つかった土器や石器、さらに貝塚出土資料なども併せて展示した。

- ・「織田信長と浅井長政展」 平成 23 年 1 月 4 日～3 月 27 日

NHK 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」放映に合わせ、館蔵資料・寄託資料の中から、浅井江の生涯に関わった人たちの関係資料を展示。特に、伯父信長と父長政を中心に紹介した。

c. 常設展

○第 1 常設展

- ・弥生時代コーナー

大中の湖南遺跡出土資料や大岩山遺跡出土銅鐸等の実物資料や遺跡の復元模型を展示し、当時の生活様式や自然環境などを体感できるよう工夫した。

- ・古墳時代コーナー

前期の代表として瓢箪山古墳と雪野山古墳を取り上げ、副葬品の展示や、巨大な竪穴式石室を復元、中期では、新開古墳出土の武器・武具・馬具等を、後期では鴨稻荷山古墳や山津照神社古墳出土の装身具、さらに近江の横穴式石室を復元して埋葬方法の変化を通して、変化する近江古墳文化の様子を示した。

- ・「しが太郎君の考古学教室」

弥生時代と古墳時代をテーマにした考古学クイズや近江の遺跡に関する情報の

提供と、直接手で触ることのできる遺物の複製品を置いた。

○第2常設展

・「中世の城づくり」

中世城郭の一部を復元し、安土城との相違点を示している。

・「戦国時代の近江」

観音寺城や小谷城などの近江の中世城郭を紹介し、六角氏や浅井氏に関する資料を展示した。

・「安土城と織田信長」

安土城跡の復元模型や発掘調査の成果、さらには織田信長関連の資料を展示した。

・「近江の城郭」

彦根城を取り上げ、安土城がさらに発展した城郭構造を明らかにした。

○安土城映像シアター

安土城跡発掘の成果や天主、城下町の復元映像を紹介した。

○信長研究室

コンピュータ検索システムにより、織田信長の事業や安土城跡の発掘状況などの情報を提供した。

d. ロビー展示

発掘調査や整理作業、安土城跡調査の成果の速報展示として、エントランスホールにおいてミニ展示を行った。特に、当館内で（財）滋賀県文化財保護協会調査整理課が実施している整理調査の成果や滋賀県教育委員会の行う安土城跡の調査の成果について、定期的に速報展示を行った。

e. 回廊展示

来館者が中庭に面した回廊を歩きながら、窓越しに見学できるよう、琵琶湖総合開発に伴う発掘調査により出土した遺物の調査・整理・復元作業と収納の様子を展示公開している。また、縄文時代の貝殻や土師器、丸木舟の実物大復元品などは、手で触れることができるようオープン展示している。

f. 屋外展示

- 重要文化財 旧宮地家住宅
- 県指定文化財 旧柳原学校校舎
- 県指定文化財 旧安土巡查駐在所

② 啓発普及事業

a. 博物館講座

平成22年5月16日（日）「ヤマト王権と水のまつり」

奈良県立橿原考古学研究所 青柳泰介氏 参加者…99人

- 平成 22 年 5 月 30 日 (日) 「水をまつる王たち」
高崎市教育委員会 若狭 徹 氏 参加者…74 人
- 平成 22 年 6 月 13 日 (日) 「導水施設と埴輪群像から見えてくるもの」
当館学芸課主任 大道 和人 参加者…44 人
- 平成 22 年 7 月 25 日 (日) 「情報ネットワークの担い手」
(財)滋賀県文化財保護協会 阿刀弘史 参加者…59 人
- 平成 22 年 9 月 12 日 (日) 「近江の城・発掘最新情報」
(財)滋賀県文化財保護協会 大崎康文他 参加者…125 人
- 平成 22 年 10 月 24 日 (日) 「足利義昭政権と織田信長」
東洋大学講師 久野雅司氏 参加者…170 人
- 平成 22 年 11 月 28 日 (日) 「藤岡謙二郎と縄文時代前半期の遺跡立地」
当館学芸課主任 鈴木康二 参加者…59 人
- 平成 22 年 12 月 19 日 (日) 「四季の花に遊ぶ鳥」
滋賀県立琵琶湖文化館 上野良信 参加者…58 人
- 平成 23 年 1 月 23 日 (日) 「鉄が語る近江の古代」
当館学芸課主任 大道和人 参加者…91 人
- 平成 23 年 2 月 27 日 (日) 「近江の観音像と西国巡礼」
当館学芸課主任 山下 立 参加者…153 人
- 平成 23 年 3 月 27 日 (日) 「西国観音巡礼の歴史と信仰」
巡礼研究家 白木利幸 氏 参加者…71 人

b. 体験博物館

メニュー：「勾玉をつくろう」	実施回数	3 回	参加者	延 162 人
「埴輪にふれてみよう」	〃	1 回	〃	10 人
「なりきり戦国時代」	〃	1 回	〃	19 人
「戦国時代へ GO!」	〃	1 回	〃	76 人
「忍者になってみよう」	〃	2 回	〃	53 人
「戦国食をつくろう」	〃	1 回	〃	9 人

開催日：平成 22 年 5 月 3 日 (祝)・23 日 (日)、7 月 18 日 (日)、
8 月 8 日 (日)・16 日 (月)・29 日 (日)、9 月 19 日 (日)、
10 月 10 日 (日)・31 日 (日)

c. 子ども考古学教室

平成 22 年 7 月 29 日 (木)、7 月 30 日 (金) に実施した。参加者 延 16 人

d. 情報提供

図書室や情報コーナーのほか、セミナールームで歴史映画を上映した。

e. 刊行物

年報、紀要、博物館だより「おおてみち」(年 4 回発行)、特別展図録、「催

し物案内」等を作成、発行した。

f. その他事業

平成22年4月29日(日)	春のお茶会
平成22年5月4日(祝)	親子写生大会
平成22年6月6日(日)	木村古墳群を探検する
平成22年8月1日(日)	ミュージアムコンサート
平成22年8月22日(日)	夏休み自由研究相談
平成22年9月5日(日)	名作映画鑑賞会
平成22年10月17日(日)	秋のお茶会
平成22年11月7日(日)	風土記の丘写真撮影会
平成22年11月14日(日)	安土城を探検する
平成22年12月23日(祝)	クリスマス親子映画会
平成23年3月13日(日)	史跡案内

g. 学校関係体験学習事業(博学連携事業)

学校外での授業や体験の場としての「総合体験学習」に柔軟に対応するため、展示室の見学のみならず、「勾玉づくり」や「火起こし」などのメニューを用意し、博学関連事業を行った。平成22年度中では、小学校・中学校を始め、高等学校や大学にも呼びかけ、延べ46校、2,304名(引率者を含む)が参加して事業を実施した。

h. 年間入館者数

総数	55,884人	(平成21年度	61,142人)
個人	53,315人	(同上	58,911人)
団体	2,569人	(同上	2,231人)
うち、高齢者・身障者等	8,271人	(同上	8,552人)

(2) 「県立琵琶湖文化館」

① 概要

琵琶湖文化館の平成22年度における管理業務は、県との管理委託契約に基づき、館施設の維持管理とあわせ、収蔵品管理などの業務を実施し、文化財所有者（寄託者）との連絡調整を行った。また、九州国立博物館において琵琶湖文化館開館50周年記念「湖の国の名宝展－最澄がつないだ近江と太宰府－」およびその関連事業を実施し、遠く九州をはじめ国内外の多くの人々に湖の国の文化に間近に触れていただく機会を提供した。県内においては県立安土城考古博物館で収蔵品の一部を活用した展覧会を実施、また普及啓発活動として文化財講座等の開催に協力した。

② 管理運營業務

a. 収蔵庫の管理

収蔵庫内において館蔵品および寄託品を適切に保存・管理するため、防虫防黴対策として年間を通じて文化財害虫や空中菌の生息状況のモニタリング、および、データロガーによる温湿度測定のほか、計画的な燻蒸を行った。

b. 資料の管理

資料の貸出や返却、特別観覧等の業務のほか、経年劣化に伴う館蔵品の修理を行った。

c. 施設の管理

予算の効率的な執行に努めるとともに、施設の適正な維持管理を行った。火災・地震等の緊急時に即応するため緊急連絡体制を敷き、自衛消防組織を編成した。また、夜間等の職員不在時は、機械警備を実施し、安全の確保に努めた。

d. 収蔵品の管理

収蔵品については適宜調査整理を行い、その成果を「淡海のたからもの」と題して新聞紙面（毎日新聞）に連載した。なお、収蔵品の一部においては、外観から肉眼で確認出来ない損傷状態等について、文化財専用のエックス線CTスキャンによる撮影を行った。その結果および収蔵品の貸出状況や写真掲載等の活動内容を「研究紀要」に収載した。

③ 展覧会の開催

a. トピック展示

九州国立博物館開館5周年・滋賀県立琵琶湖文化館開館50周年記念
「湖の国の名宝展－最澄がつないだ近江と太宰府－」

入場者数：84,322人

開館50周年を記念して企画したこの展覧会は、所蔵品・寄託品の中から国宝3件、重要文化財33件、滋賀県指定文化財17件を含む選りすぐりの優品56件（105点）を紹介

した。

会 期：平成22年6月11日（金）～9月5日（日） 87日間

会 場：九州国立博物館（福岡県太宰府市）

文化交流展示室 関連第9・11展示室・基本展示室

入場料：一般420円（210円）・大学生130円（70円）

（ ）内は20名以上の団体料金

主 催：九州国立博物館・福岡県・滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県

後 援：滋賀県文化財保護連盟・社団法人びわこビジターズビューロー

特別協力：財団法人太宰府顕彰会

<関連事業>

○オープニング

日 時：平成22年6月11日（金）

内 容：滋賀県の文化財や魅力を伝える印刷物の無料配布（300部）

*滋賀県イメージキャラクター「キャプフィー」からプレゼント

○開幕記念セレモニー

日 時：平成22年6月12日（土）

（第1部）内 容：主催者あいさつ、滋賀県や彦根市のパンフレットの配布等 *「キャプフィー」、「ひこにゃん」も登場した。

（第2部）内 容：ひこにゃん、キャプフィーのビンゴゲーム

*当選者には滋賀県・九州国立博物館が用意したプレゼントを配布。

○講演会 I

参加約80名

日 時：平成22年7月4日（日）午後1時30分～午後4時15分

料 金：無料（当日参加受付）

テーマ：最澄が見つない近江と太宰府

講師・演題：

「最澄と比叡山」 菅田玄光氏（比叡山延暦寺副執行・管理部長）

「太宰府と近江の仏教美術—彫刻を中心に—」

八尋和泉氏（元別府大学文学部教授）

「比叡山をめぐる仏教美術—近江路の彫像を中心に—」

宮本忠雄氏（元滋賀県立琵琶湖文化館長）

○講演会 II

参加約50名

日 時：平成22年7月10日（土）午後1時30分～午後4時25分

料 金：無料（当日参加受付）

テーマ：近江の仏教美術

講師・演題：

「六道絵の世界」 上野 良信（滋賀県立琵琶湖文化館学芸員）

「近江の仏像について」 土井 通弘氏 (就実大学教授)

「延暦寺所蔵木活字174, 261点の世界一日本初の一切経印刷事業」

藤田 励夫氏 (九州国立博物館保存修復室長)

「近江の金工品」 井上 ひろ美 (滋賀県立琵琶湖文化館学芸員)

○滋賀県観光パネル展「浅井三姉妹『江』のふるさと」・※県観光局主催

日 時：平成22年6月20日(日)～7月4日(日)

○ミュージアムトーク&ギャラリートーク ※県観光局主催

日 時：平成22年8月21日(土)

(第1部) 館長と滋賀県知事によるミュージアムトーク 参加約80名

<滋賀のおすすめ地場産品抽選会>

ミュージアムトーク参加者の中から、抽選で「滋賀のおすすめ地場産品」を贈呈した。

(第2部) ギャラリートーク 参加約30名

○写真パネル展「水と仏の近江」

トピック展示の内容を補足するための関連事業として位置づけ、滋賀の文化財と四季を彩る風景写真をパネルで展示、文化財と観光の両側面から滋賀の文化の奥深さをアピールした。

会 期：平成22年6月20日(日)～7月3日(土) 12日間

会 場：九州国立博物館 ミュージアムホール

b. 特別陳列

「四季の花に遊ぶ鳥—琵琶湖文化館収蔵品から—」 入館者数 3,378名

会 期：平成22年12月4日(土)～平成23年1月23日(日)

主 催：滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県立安土城考古博物館

会 場：滋賀県立安土城考古博物館

<関連事業>

記念講演会「四季の花に遊ぶ鳥—琵琶湖文化館収蔵品から—」

平成22年12月19日(日) 参加者53名

講 師：上野 良信 (琵琶湖文化館学芸員)

④ 普及啓発活動

a. 平成22年度琵琶湖打出浜から、文化財の最新情報を届けます!

「滋賀の文化財講座 打出のコヅチ」

主催：滋賀県教育委員会・滋賀県立琵琶湖文化館

協賛：琵琶湖文化館友の会

後援：滋賀県文化財保護連盟・社団法人びわこビジターズビューロー

会場：コラボしが21 3階中会議室1、大会議室

- ・第1回 5月20日(木)「竹生島宝厳寺文書—歴史と保存修理—」
(講師) 太田浩司氏(長浜市立長浜城歴史博物館)
池田和彦氏(株式会社坂田墨珠堂) 参加者64名
- ・第2回 6月17日(木)
「湖の国の名宝、遠の朝廷へ—九州国立博物館展示の舞台裏—」
(講師) 井上ひろ美(琵琶湖文化館学芸員) 参加者67名
- ・第3回 7月22日(木)「近江の仏画—九州国立博物館出品作を中心に—」
(講師) 上野良信(琵琶湖文化館学芸員) 参加者48名
- ・第4回 8月19日(木)「近江の梵鐘—その文化史—」
(講師) 古川史隆氏(滋賀県教育委員会事務局文化財保護課) 参加者54名
- ・第5回 9月16日(木)「近代和風建築の魅力—蘆花浅水荘を中心に—」
(講師) 菅原和之氏(滋賀県教育委員会事務局文化財保護課) 参加者57名
- ・第6回 10月21日(木)「聖衆来迎寺の新出資料」
(講師) 井上 優氏(滋賀県教育委員会事務局文化財保護課) 参加者60名
- ・第7回 11月25日(木)「近江の神社建築とその景観」
(講師) 池野 保氏(滋賀県教育委員会事務局文化財保護課) 参加者69名
- ・第8回 12月16日(木)「滋賀の民俗文化財の魅力」
(講師) 矢田直樹氏(滋賀県教育委員会事務局文化財保護課) 参加者66名

b. 出張講座

- ・愛荘町教育委員会・愛荘町立歴史文化博物館映像記録上映会
「平成大曼荼羅の像立」講演会(5月16日)
- ・浄土宗広島教区第八五回普通講習会(9月8日)
- ・多賀町立文化財センター 多賀大社奥書院障壁画・庭園修理完了記念事業
「多賀大社奥書院の障壁画と庭園」講演会(10月23日)
- ・多賀町生涯学習講座「多賀の仏像めぐり」現地説明(11月17日)

c. 執筆活動

- ・毎日新聞紙上での連載
平成20年10月より毎日新聞紙上において開始した連載「淡海のたからもの—琵琶湖文化館収蔵品から」を担当、毎週火曜日(月曜日が祝日の場合は休載)に学芸員が収蔵品を詳しく紹介した。今年度は22回連載した。
- ・「教育しが」電子版での連載
滋賀県教育広報紙「教育しが」の紙面上で平成14年4月号(No. 193)から開始された琵琶湖文化館シリーズの連載執筆を今年度も行った。現在は電子版として滋賀県のHPで公開されている。琵琶湖文化館の所蔵品を紹介するもので、今年度は第74~79号の6回を担当した。
- ・琵琶湖文化館開館50周年「湖の国の名宝展」

掲載紙：毎日新聞（滋賀県版）

掲載日：平成22年4月8日（木）～9月2日（木）毎週木曜日

執筆者：琵琶湖文化館・九州国立博物館 回数：18回

・九博開館5周年記念「湖の国の名宝展」

掲載紙：毎日新聞（福岡県版）

掲載日：平成22年6月8日（火）～6月12日（土）連載

執筆者：琵琶湖文化館・九州国立博物館 回数：5回

⑤ 特別観覧（調査）受入等

・館蔵品特別観覧（平林彰）

平成21年度鹿島美術財団「美術に関する調査研究助成」での研究のため

・寄託品特別観覧（奈良大学大学院文学研究科文化財資料学専攻・井上未来）
修士論文執筆のため

・寄託品特別観覧（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課建造物担当）
保存修理中の建造物に関する記録調査のため。

・館蔵品特別観覧（京都府総合資料館・大塚活美）
京都出身の写真家黒川翠山の調査・研究のため

・寄託品特別観覧（早稲田大学文学学術院美術史コース准教授・成澤勝嗣）
曾我蕭白の画風形成における黄檗絵画からの影響調査・研究のため。

・寄託品特別観覧（龍谷大学大学院・鍵和田聖子） 密教図像学会における発表
のため。

・館蔵品特別観覧（内海茂子） 牧田みち子作品の調査のため。

・寄託品特別観覧（浄土宗） 浄土宗所蔵文化財撮影事業のため。

・滋賀県琵琶湖環境科学研究センター「ユスリカ」調査受入

⑥ 文化財保護行政等への支援・協力

文化財保護行政への支援・協力の充実を図るため、県教委および市町教委等からの要請による文化財調査等を行った。

・滋賀県美術工芸品実態調査への協力

・滋賀県所在梵音具史料調査事業への協力

・滋賀県教育委員会県指定文化財指定事業支援

・滋賀県文化財保護審議会（美術工芸品部会）現地調査への協力

・滋賀県教育委員会修理事業支援

・滋賀県教育委員会撮影事業支援

・多賀町未指定文化財調査協力

・甲良町教育委員会HP作成事業

・大津曳山祭孔明祈水山管理支援

・胎蔵庵修理事業支援

- ・多賀大社奥書院襖絵修理事業支援
- ・妙応寺修理事業支援
- ・滋賀県博物館協議会企画委員

⑦ 広報活動

a. ホームページの一新

事業や文化財に関する調査・研究の成果を始めとする様々な情報を紹介するため、当館ホームページの内容を一部新しくするとともに充実させ、恒常的かつ時宜に見合った文化財およびその関連情報を提供することで、県内の文化財保護の基盤形成とその環境向上に尽力した。

b. ギャラリー展「あきつブログと湖の国の名宝展」

日 時：平成22年6月21日（月）～6月26日（土） 入場者数：123人

会 場：NHK大津放送局ギャラリー

主 催：滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県 九州国立博物館・福岡県

内 容：九州で開催された「湖の国の名宝展」の雰囲気但至少でも県民のみなさんに知っていただこうと企画したもので、「湖の国の名宝展」の展覧会会場や催しの様子などを写真パネルや映像を用いて紹介した。さらに、琵琶湖文化館が現在行っている活動についても当館HPにある「あきつブログ」で情報発信してきた内容をもとにパネル展示を行い、博物館活動への理解を深めていただく機会とした。

⑧ その他

- a. 次の文化財所有者に対し保存・修理等の技術指導、火災・盗難等の緊急時における文化財の受入れ等を行った。

大津祭中堀町孔明祈水山保存会、胎蔵庵（多賀町）、法光寺（守山市）、胎蔵庵（多賀町）、多賀大社（多賀町）

- b. 琵琶湖文化館友の会の活動に関する支援を行った。

(3) 「県埋蔵文化財センター」

① 展示

a. 常設展示

1階ロビーにおいて常設展示を行い、一般に公開し、埋蔵文化財に対する知識の普及啓発に努めた。展示は、概ね近江の生活文化を紹介することとしており、今年度の上半期は、昨年度から継続して5月初めまで「古代を支えた瀬田山の焰」と題して、地元の源内峠遺跡復元委員会とともに瀬田丘陵の生産遺跡について、これに係る遺構・遺物などを展示資料とし、写真・イラスト・文字パネル、模型などで解説を加えて展示した。また、展示スペースの一部では「リサイクルの考古学」と題

した展示を行った。

5月後半から夏休み前までは「琵琶湖が育てた歴史と文化」と題し、“資源をもたらす湖”、“物流拠点の湖”、“心のよりどころの湖”という三つの視点から琵琶湖に培われた近江の文化と歴史について、出土遺物、写真パネル等を用いて紹介した。

夏休みの「レトロ・レトロの展覧会」の後、9月上旬から12月上旬までは「縄文のアートと文化」というテーマで展示を行った。一般の方が興味を持ちやすい縄文時代の資料類を全面に押しだしつつ、人口問題、資源問題といった現代の私たちが抱える問題にも通ずる悩みに挑戦していた縄文時代の文化・様相について紹介した。12月下旬からは、昨年度末にまとまった調査成果が報告できた遺跡の中から、当センターの近隣に位置し、交通・流通の盛んな近江の国の玄関口の一つと位置づけられる、関津遺跡を取り上げ、他の遺跡にはあまり見られない特徴的な出土遺物等を展示し、その特性について紹介した。

b. 発掘記念日・季節展示

常設展示の一部に、折々の季節に相応しい催しごとに関わる考古資料などを展示する「季節展示」と、発掘調査に関わる記念日、歴史上の記念日などを写真・解説パネルで紹介する「発掘記念日」展のコーナーを設けた（27回）。

c. 『発掘「かわら版」 in 滋賀』

報道機関等に公表された主な発掘調査成果をパネルにして紹介した。

紹介ニュース 下羽田遺跡・中路遺跡・宇佐山古墳群等 17件

② 執筆・編集

a. 「埋もれた文化財の話 31」の編集

通史編の6冊目として『近江の鎌倉時代』を執筆・編集した。

b. 『平成21年度滋賀県文化財年報』の執筆

平成21年度の滋賀県埋蔵文化財センターにおける活動を執筆した。

③ 出土遺物・写真・図書等の受入れ、利用状況

a. 出土遺物の受入れ

報告書が刊行され、整理調査が完了した出土遺物の受入数は以下の通りである。受入れた出土遺物については、「滋賀県における出土品の取扱い基準について」（平成11年4月1日 教育長通知）に基づき区分し、収納した。

・提出機関 財団法人滋賀県文化財保護協会

・受入遺跡数 19遺跡 ・受入件数 20件 ・箱数 532箱

b. 収蔵庫点検

埋蔵文化財センター以外に出土遺物を収納している7ヶ所の収蔵庫を管理している。月に1回程度の点検を行い、資料の収蔵状況、収蔵庫の外壁や屋根などの損傷、

雨漏り、害虫、施錠などの状態を確認した。

c. 資料の一般貸出

展示資料として全国の博物館や資料館などへの出土資料の貸出許可、出土資料の写真撮影および書籍等への掲載許可等の業務を行っている。このうち一般貸出については、今年度は、14 件の出土資料の貸出（これに係る写真撮影・写真資料の貸出・掲載許可等を含む）を承諾した。

d. 「埋蔵おおき笑！！」貸出

これまで滋賀県教育委員会が行った発掘調査で出土した土器や石器などの実物資料を学校の授業や各種の社会教育、講演会等で利用できるようにした貸出事業である。単品メニューから選択するもの（出土品の体感バイキング）と遺跡ごとの出土文化財データから選択するもの（出土品の地場産御膳）があり、併用もできる。今年度には、学校での歴史・美術学習で 2 校に貸出を行った。また、14 件の事業に参加し、「まいぞおおきに!!（埋蔵 大喜笑!!）」を紹介・活用した。

なお、今年度は、「まいぞおおきに!!」実施中に、展示遺物を紛失するというアクシデントがあったため、これ以降の遺物の移動を今年度いっぱい禁止した。また、今後「まいぞおおきに!!」・貸出・出前事業等において遺物の移動を伴う場合には、職員 1 人につき遺物 5 点とし 1 時間ごとのチェックを行うなど、厳重な体制で事業を実施することとした。

- ・平成 22 年度貸出し先 14 件
- ・利用者数 1,047 人 ・利用点数 延べ 449 点

e. 資料の保存処理

保存処理実績 16 遺跡、716 点

f. 資料調査の受入れ

調査受入件数 7 件、7 人

g. 図書資料の受入れ

寄贈図書数・発掘調査報告書類 1,160 冊、その他一般図書 397 冊、計 1,557 冊

h. 図書資料の閲覧

利用者 16 人

閲覧目的…市町教育委員会埋蔵文化財担当者や一般の専門家による調査研究、大学生のゼミ資料や卒業論文の資料収集等

i. 写真・図面資料等の受入れ

- * 図面資料 第 1 原図 158 冊、その他資料 17 冊、計 175 冊
- * 写真資料 アルバム類 197 冊、スライド 110 冊

j. 写真資料等の貸出および掲載許可等

貸出し件数…写真資料 62 件(掲載・転載・撮影等を含む)、図面類 0 件、計 62 件

④ 入館者状況

a. 入館者総数 11,077人(個人10,798人、団体279人)
(平成21年度比 個人 2,151人増、団体 146人増、計 2,297人、平成14年度以降 9年連続増加。なお、団体見学は、主に体験学習等の小・中学校)

b. 体験学習・職場体験等の受入れ

県内の小中学校等の学校教育の一環として行われる体験学習や職場体験等の要請を積極的に受入れた。大津市立瀬田東小学校(144人)、大津市青山小学校(168人)、草津市立笠縫東小学校(93人)他19校、総受入人数 1,492人を受入れた。

⑤ 文化財活用事業の実施

a. 目的

県教育委員会からの受託により、埋蔵文化財の活用を通して、文化財の地域への定着を図るとともに生涯学習、学校教育、地場産業等の振興への寄与する事を目的とし、各種文化財活用事業を展開した。

b. 内容および実施成果等

○講演会の開催

第95回滋賀県埋蔵文化財センター研究会

日時 平成22年12月4日(土) 10時から16時まで

会場 コラボしが21

テーマ 『琵琶湖を制する者』

内容 「耕す・漕ぐ・道を作る・架ける・戦う・制する」をテーマに講演

参加人数 150名

○体験学習の実施

夏休み期間および、秋に生活文化を中心とした体験学習を集中して実施した。

(夏期) 日時:平成22年7月28日(水)~8月27日(金)の間で16日にわたり実施。

テーマ:「夏休みの考古学体験学習」

釣針作り、石鏃作り、鍛冶体験、染物体験など

参加人数:482人

(秋期) 日時:平成22年10月16日(土)~11月13日(土)の間で6日にわたり実施

テーマ:「実りの秋の体験学習」

ドングリ食体験、鍛冶体験、染物体験、古代スイーツ作り

参加人数:99人

○体験学習リーフレットの作成

上記体験学習用のリーフレットを作成した。

○発掘調査成果の紹介

第 96 回滋賀県埋蔵文化財センター研究会

日 時 平成 23 年 3 月 5 日 (土) 9 時 30 分から 16 時 30 分まで

会 場 ピアザ淡海 3 階大会議室

テーマ 平成 22 年度滋賀県発掘調査成果報告会

「土の中から歴史が見える' 10 ～最新の発掘成果から～」

内 容 平成 22 年度に県内で行われた主な発掘調査の成果について、宇佐山古墳群、相谷熊原遺跡 他 6 件を映像により紹介した。

参加人数 150 人

⑥埋蔵文化財センター管理運営業務

埋蔵文化財センター庁舎改修・修繕

- ・ガス瞬間湯沸かし器水漏れ修理
- ・整理室電灯修繕
- ・汚水配管詰まり修繕
- ・非常照明器具予備電池取り替え修繕

5. 文化財保護資金貸付事業

(1) 貸付審査会

第1回	平成22年	7月27日(火)	1件審査
第2回	平成23年	1月27日(木)	1件審査

(2) 貸付実績

平成22年度貸付件数	2件
〃 貸付総額	13,260,000円

(3) 総貸付件数	23年3月末	313件
-----------	--------	------

(4) 未償還額	23年3月末	86,678,600円
----------	--------	-------------